



東北アジア学術交流懇話会 平成 25 年公開講演会

すぐそこのロシア“隣人の今”

Neighboring Russia

ロシアは、我が国にとって隣国にほかなりません。しかしロシアは、日本人の心の中でその近さに見合った場所を見つけることができずにいるように思います。この講演会では、世界の中のロシアの位置と、我々にとってロシアとは何でありうるのかを考えてみたいと思います。

講演 / 「ロシアの異質性と世界」

講師：横手 慎二 氏（慶応義塾大学）

「変容する北東アジアのエネルギーフロー」

講師：本村 眞澄 氏（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

平成 25 年 5 月 24 日(金) 15:00 ~ 17:00

会場：東北大学東京分室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 7 番 12 号サピアタワー 10 階

Tel. 03-3218-9612 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>

聴講無料

【聴講ご希望の方は 5 月 22 日(火)までに以下へお申し込みください】

東北大学東北アジア研究センター内 東北アジア学術交流懇話会事務局 Tel. 022-795-7580 E-mail: gon@cneas.tohoku.ac.jp

すぐそこのロシア“隣人の今” *Neighboring Russia*

平成 25 年 5 月 24 日(金) 15:00 ~ 17:00 会場：東北大学東京分室

講演：「ロシアの異質性と世界」

講師：横手 慎二 氏（慶応義塾大学）

ロシアはゴルバチョフ書記長の登場以降「ヨーロッパに回帰する」ことをスローガンとして掲げてきたが、プーチンの下で再び欧米諸国と距離を置くようになったと評されている。ロシアが伝統的に身につけてきた欧米諸国との文化的疎隔、つまり異質性の問題はロシア外交を理解するための重要な切り口の一つだと考えられる。そこでこの問題をロシア外交史の中に位置づけつつ、現在のロシア外交が直面する課題を考察する。

【講師の主要業績】

著書に『日露戦争史』（中公新書）、『現代ロシア政治入門』（慶応義塾大学出版会）。共編著・共著に、The Russo-Japanese War, World War Zaro, vol.1-2 (Brill)、『ポスト冷戦時代のロシア外交』（有信堂）など。

講演：「変容する北東アジアのエネルギーフロー」

講師：本村 眞澄 氏（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

この 10 年で、ロシアから北東アジア向けの石油・ガスフローが次々と出現し、ユーラシア大陸規模でアジア向けエネルギーシフトが進行している。ロシアにとっては欧州市場に陰りがある中、中国市場のみならず、発展性の観点から日本市場の獲得が重要である。日本は、過度の中東依存脱却というエネルギー安全保障の観点から対ロシア連携を強化し、安定的なエネルギー環境を整備する必要がある。

【講師の主要業績】

著書に、『石油大国ロシアの復活』（アジア経済研究所）、共著に『環オホーツク海地域の環境と経済』（北海道大学スラブ研究センター）、『トコトンやさしい天然ガスの本』（日刊工業新聞社）、『石油資源の行方—石油資源はあとどれくらいあるのか（シリーズ 21 世紀のエネルギー）』（石油天然ガス金属鉱物資源機構調査部）など。

